

状を知るべし。

五日、八里堡ヂエンズイ、鎮四堡プシユワン、宣化堡ホワ、定安堡ヂンアン、大寧墩ダイニンを経て瀧浪河パ（幅約數百米突水）を渡り、黑泉ヘイチヨワン子ヅを過ぎて花墻子に宿す、行程約十里。蓋し黑泉子、花墻子間は、全然沙漠地を形成し、黄土砂を交へ且つ多量の鹽分を含む此邊夏季降雨の際は、泥濘深く脛を没して一時交通を絶つこと有り。此際に方れば其の南山麓に一小道を通じ、僅に肅州スーヂョウへの往來を辨ず。然れども該道は幅狭く、坂多く、路面石満ちて、距離且つ遠しと。沿道の土民中、殊に小兒の多くが、長さ一二寸、幅一寸許の長方形を成せる紅絹を、左肩或は前腋に附するを見る。就て問へば邪氣を禳ふなりと。固より迷信の一習慣に過ぎざるべし。

紅絹の片
と迷信

六日、花墻子ホワチヤンツを發し、紅寺ホンズを過ぎて深溝シンコウに到り、行程四里餘遂に是に宿す。地形は前日來と同じく平坦開濶にして、樹木少く住民亦多からず、路面は沙深くして歩行頗る困難なり。深溝は人家僅々二十有餘に足らざる廣野中の一小村落にて、纔に一の旅舎を有し、食物は悉く之を甘州に仰ぎて價格不廉。飲料は井水を用ひるも、鹹味ありて良しからず。